

## 活性化委員会の振り返りと現状

ねりまシニアネットワーク（NSN）は、会員の高齢化と 2020 年のコロナの猛威で衰退しつつあった。そこでこの状態を打破するため各同期会から有志を募り、NSN 存続委員会（後に改名し活性化委員会）を立ち上げた。同期会としての活動は比較的うまくいっていたので、NSN の会員が同期会を超えて参加できるイベントに焦点を当て、チャリティーオークション・菖蒲園散策・手品教室を実施した。オセロ大会は参加希望者不足でキャンセルとなったが、チャリティーオークション・手品教室は現在も継続している。

しかしながら一部の会員の参加にとどまって盛り上がり欠けていることから、我々が考えるイベントが必ずしも会員のニーズにマッチしているとは言えないのではと考えた。そこで振出しに戻り、**会員のニーズ調査**から始めることにした。

1 回目のアンケートでは「どんなイベントに興味があるか?」、2 回目は、各イベントの参加希望者・イベント実施の協力者を把握するために記名式のアンケートとした。



集計結果をもとに、多くの会員が興味を示すイベントから手を付けることにする予定。具体的に開始できるのは、多分来年度になるであろう。

一方で、四季会の桑原様から「大人の遊び場」というイベント提案があり、11月8日及び12月19日に実施されたが、なかなか盛況である。これからも1月16日、2月27日、…と毎月開催していくとのことである。我々としても応援していくつもり。会を超えた足場なので、是非参加して、大いにこれを利用していただきたい。

このように我々の活動は地道だが、それなりにやり甲斐はあると思うので、興味のある方は是非一緒にやりませんか。

活性化委員会世話役 齋藤弘二

## ねりまシニアセミナー委員会について

ねりまシニアネットワーク（NSN）の目的は、ねりまシニアセミナー（NSS）を毎年開き、そこに集まった方々が自主的に新しい会（同期会）を立ち上げ、それを支援することである。これは既存の会に入るのではなく、「自分達で・自分達のための・自分達の足場を造る」と同義である。それを NSN がサポートする。具体的には NSS 委員会がその任にあたる。2020年・2021年はコロナ影響を受けて新同期会が発足できなかった。

NSS 委員会は既存の各同期会から選ばれた方々で構成される委員と、前年度このセミナーに参加し出来た新しい同期会から選ばれた幹事会で構成されている。

ここで前年度に設立した**新同期会が幹事会となる理由**は二つある。その一つ目は、幹事会から前年度に行われたセミナーの良い点・改善点を聞き、次年度のセミナーに反映させること。二つ目は新同期会に幹事会として一つの目標に向かって作業をしてもらうことで、会としての一体感をより早く醸成させることである。

しかしながら毎年同じような問題が発生する。NSS 委員会から新同期会に幹事会になってもらう説明をすると、必ずそんなはずではなかったと、反対コールがわき上がる。最終的には幹事会はできるが、最初しぶしぶ！終わってみると、その達成感と会の一体感の醸成に寄与したことを認める同期会が多かった。しかしすべてではない。

NSS 委員会は既存の会から選ばれた方が委員になっている。また、新同期会の幹事会終了後にあらたに NSS 委員会の委員になることで委員会の新陳代謝を図っている。

今まさに2025年の第31回 NSS へ向けた準備の真最中である。興味のある方は是非委員会に参加していっしょに新しい NSS を作り上げませんか！毎月第1水曜日14時から、練馬高野台駅前地域集会場にて委員会が開かれています。

NSS委員会事務局 大貫雅弘

キャッシュレス決済 皆さん使ってますか？

過日の例会でこんな質問がありました。練馬区が地域振興策として、地域の商店で買い物をしPayPayで支払うと、20%の金額還元を受けられる制度を皆さん利用しているか？ という質問です。会の出席者7人のうち、たった1人だけがPayPayをインストールしていましたが、ただあまり使っていないという回答でした。何故我々の世代では使われていないかということ、一つはあまりニーズを感じていない。そして漠然としたトラブル不安です。

そこで今年の10月例会の開催時に、東京都消費生活センターの相談員山本氏に”キャッシュレス社会/電子マネーとトラブル“という表題で講演を依頼致しました。その講演内容を簡単に紹介いたします。

- ① 世界のキャッシュレス化はどのくらい進んでいるか？ 韓国99%、中国83%、米国58%、日本36%となっていて日本はこの面では遅れている。
- ② キャッシュレス化が遅れている理由 日本は比較的治安が良い、キャッシュレスは金銭感覚が麻痺して無駄使いが増える。
- ③ 国がキャッシュレス化を進める理由 訪日外国人への配慮。不明瞭なタンス預金をあぶり出し税金を取りたい。お札は印刷コストがかかる。自動販売機のソフト更新にお金

が掛かる。等が遅れている理由です。

- ④ 現状のキャッシュレス決済の規模は？ 金額126兆円。 その内訳はクレジットカード83%、デビットカード3.7%、電子マネー6.4%、ペイペイ等8.6%
- ⑤ クレジットカードの仕組みの解説と過去の決済トラブル事例について、各種事例説明を受けました。

最後にモバイルウォレット（スマホ決済）の代表格 PayPay の仕組みの解説と、実際にインストールする方法と、その使い方の講義を受けました。我々世代の様に不安視する者は、チャージはコンビニで一定金額を入金してから使う方法が、トラブルを防げるとアドバイス受けました。なかには講師の先生に、アプリのインストールを手伝ってもらい、見事に使える様になった有意義な講習会でした。

みんなの会 桂 幸嗣



セカンドライフサロン 第3回講座開催報告

「もっと知りたい認知症のこと」が11月30日に、えーるで42名が参加して開催されました。2部構成で、1部は認知症サポーター養成講座、2部はテーマに沿って、MCI（軽度認知障害）についての学びとグループトークを行いました。

※ 参加者の感想を以下に掲げます。

- ・自分を見直す良い機会を得た。
- ・誰でも認知症になるということに気づいた。
- ・認知症は特別なことではないということがわかった。
- ・歳をとるにつれて忘れることとか、捜し物が多くなってきた。
- ・ゴミ出しを守れない人に認知症の場合があるという視点はなかったが、新しい考え方を持つ必要性に気づいた。
- ・記憶の引き出しを開ける時間が長くなった。
- ・認知症になっても社会に素直に認めて頂いて、恥ずかしがらず、自分の趣味など好きなことをして穏やかに生活していきたい。
- ・認知症になっても、その段階に応じて接してほしい。各段階で自分ができることをやって

いきたい。

- ・サポーターをしたいが、自分が80歳を過ぎているので無理だと思う。
  - ・認知症に限らず明日自分の身に何が起きるか分からないので「今日が一番」「日々の努力を欠かさない」という心構えで、物ごと・人生を考える。
  - ・突然死に対して何時どうなるか分からないが、受け入れる覚悟を持つ。
- <全体としてのまとめ>
- ・映像が有り、より理解が進んだ。
  - ・講座の内容・講師の講義等が良く理解できた。



小泉講師

セカンドライフサロン事務局 相田宗男

